

# 地方創生交付金事業評価検証シート【平成29年度実績】

事業名	ライフステージに応じた「健康」を叶えるまちづくり		
活用している交付金	地方創生推進交付金	事業年度	H28年度～30年度

## 1. 事業の方針と評価指標

事業概要	健康づくりなどの福祉や教育施策という従来からの町の強みを磨き上げ、住民活動や各種連携(官民連携、政策連携、広域連携、官学連携)を生かした取り組み展開により、あらゆる世代の希望を実現することを目指す「鷹栖町版CCRC構想」の実現を図る。		
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住促進事業【Plan7】</li> <li>・多世代の健康づくりと交流創出に効果的な運動プログラムの導入【Plan5、8】</li> <li>・住民による地域交流活動メニューの多様化推進【Plan6、8】</li> </ul> ※【】は主に関連する町総合戦略の重点施策		
事業費実績	H28	H29	H30
	10,416千円	33,869千円	
重要業績評価指標(KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
移住者数	183人	H30年度完了時点	
地域サロン設置数	8カ所	H30年度完了時点	○
年間流出人口	189人	H30年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の考え方(事務局(庁内)評価)

住民の暮らしの満足度を高める「子育て支援・教育」「福祉」分野といった定住対策の磨き上げを土台に、官民連携や政策間連携を生かした積み上げにより、移住定住の推進に一定の成果を得始めている。引き続き、多世代の健康につながる運動プログラムの活用や住民交流活動の一層の推進など、住民満足度の高い地域コミュニティの創出に向けた取り組みを継続することで、CCRC構想の具現化につなげる。

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

子育て支援や住民活動支援の環境が充実してきているということは評価できる。新たに対応が求められる課題に対しての取り組みや、新規に整備される住民活動拠点施設を活用した展開など、横連携を重視した施策の一層の推進を期待する。

# 地方創生交付金事業評価検証シート【平成29年度実績】

事業名	地域資源を発見・発信「オール鷹栖で産業・雇用創出事業」		
活用している交付金	地方創生推進交付金	事業年度	H28年度～30年度

## 1. 事業の方針と評価指標

事業概要	農産物の高付加価値化や農商工連携によるブランド創出、外部人材を生かした持続的な農業基盤の強化など、地域資源をつなぎ、ブラッシュアップする取り組みにより、産業振興における諸課題の解決と雇用の創出を図る。		
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産品販売促進・特産品開発事業（PR媒体の作成等）【Plan1、2、3】</li> <li>・新規作物・新製品等の開発等にかかる調査研究【Plan1】</li> <li>・グリーンツーリズムの実施による農業活性化、鷹栖産物の積極的PR【Plan3】</li> </ul> ※【】は主に関連する町総合戦略の重点施策		
事業費実績	H28	H29	H30
	2,805千円	6,407千円	
重要業績評価指標（KPI）	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
鷹栖町産米出荷量	36,500kg	H30年度完了時点	○
地域ブランド確立数	3件	H30年度完了時点	
新規参入企業数	3件	H30年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の考え方（事務局（庁内）評価）

<p>農業基盤の強化や地域資源の磨き上げによる新たな資源化など、各分野の課題解決に向けた個々の取り組みを積み重ねている一方、雇用施策など十分な成果とまでは至っていない分野については、より一層の取り組みの工夫が必要。</p>
---

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議（外部評価）

<p>評価指標の達成だけに視点をとどめず、他分野との横連携や見せ方の工夫など、取り組み工夫を一層進め、施策全体の底上げが図られることを期待する。雇用分野では働き手と雇い手とのニーズのマッチングに向けた課題整理、農業分野ではブランド化の方針整理が特に進められると良い。</p>
---

# 地方創生交付金事業評価検証シート【平成29年度実績】

事業名	農業担い手交流センター整備による就農・移住促進プロジェクト		
活用している交付金	地方創生拠点整備交付金	事業年度	H29年度

## 1. 事業の方針と評価指標

事業概要	新規就農者等の定着と安定経営を図ることを目的に、農業技術や知識を習得でき、且つ新規作物の研究や地域教育に活用できる研修施設の整備。		
主な取り組み内容	・農業担い手交流センターの整備【Plan1】 ※【】は主に関連する町総合戦略の重点施策		
事業費実績	H29		
	79,170千円		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
研修センター栽培作物の総収入額	2,600千円	H33年度完了時点	
研修センター利用者の就農者数	6人	H33年度完了時点	
施設管理者(アクティブシニア世代)雇用者数	4人	H33年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の考え方(事務局(庁内)評価)

平成29年度は施設の整備が完了し、平成30年度から運営開始。平成30年度4名の研修生でスタートを切ったところであり、事業の本格的な推進、成果は今後である。
---

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

施設を有効に活用した事業の着実な推進を期待する。
--------------------------